

「浮島太陽光発電所」の運転開始について
～川崎市臨海部における国内最大級のメガソーラー計画の推進～

平成 23 年 8 月 10 日
川 崎 市
東京電力株式会社

川崎市(川崎市長:^{あべ たかお}阿部 孝夫)と東京電力株式会社(取締役社長:^{にしざわ としお}西澤 俊夫)は、平成 20 月 10 月に神奈川県川崎市浮島、および扇島の 2 地点において、合計出力 2 万 kW の太陽光発電所を建設するメガソーラー計画を共同で進めることについて合意し、これまで建設をすすめてまいりましたが、本日、「浮島太陽光発電所」の運転を開始いたしましたので、お知らせいたします。

なお、「扇島太陽光発電所」についても、当初計画通り平成 23 年 12 月に運転を開始する予定です。

浮島太陽光発電所は、川崎市が保有する土地に東京電力が建設・運転する最大出力 7,000kW のメガソーラーで、年間発電電力量は一般家庭約 2,100 軒分の年間使用電力量に相当する約 740 万 kWh を見込んでおり、本日より 18 年間東京電力が運営いたします。

また、当発電所による CO₂ 排出量削減効果は、年間約 3,100 t を見込んでおります。

なお、8 月 6 日にオープンした PR 施設「かわさきエコ暮らし未来館(川崎市運営)」では、太陽光発電等の普及啓発活動の推進に加え、川崎市の環境への取り組みを国内外に発信してまいります。

川崎市は、現在、「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」として地球温暖化対策を進めており、公共施設への太陽光発電設備の設置や住宅用太陽光発電設備の設置補助など、低炭素社会の実現に向け、先導的な役割を担うべく取り組んでおります。

今後も、浮島太陽光発電所、およびかわさきエコ暮らし未来館を活用して、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーに関する普及啓発を行うとともに、その導入促進や、実証等の取り組みを、これまで以上に強化してまいります。

東京電力は、引き続き、電力の安定供給に努めるとともに、浮島・扇島太陽光発電所の建設と運転に万全を期しながら、再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでまいります。

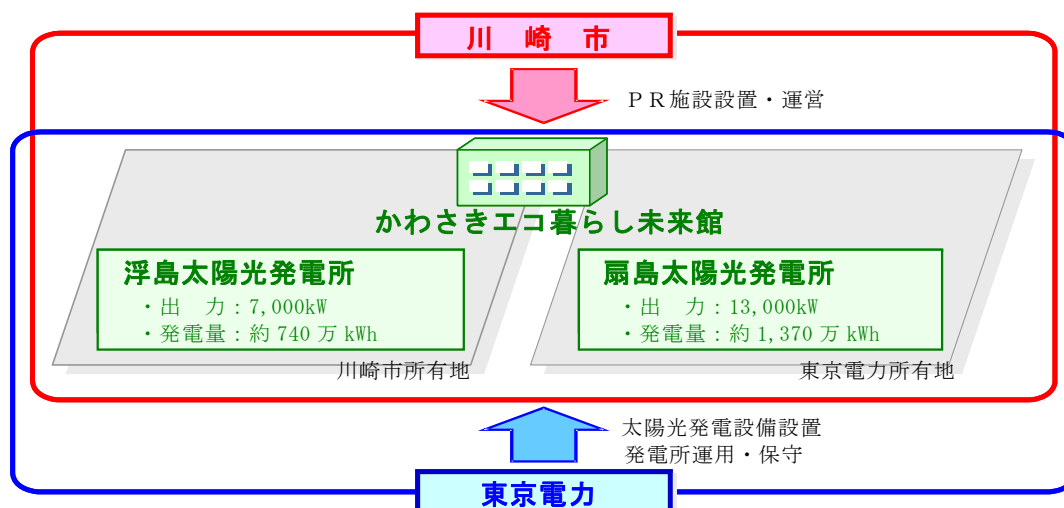
以 上

<報道関係者さまからの本発表内容に関するお問い合わせ先>

川崎市 環境局地球環境推進室	044-200-2508 (直通)
東京電力株式会社 広報部 報道グループ	03-6373-1111 (代表)

川崎市臨海部におけるメガソーラー計画の概要

1. スキーム図



2. 太陽光発電設備の概要

発電所名	浮島太陽光発電所	扇島太陽光発電所
所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町	神奈川県川崎市川崎区扇島
発電所諸元	最大出力	7,000kW
	推定発電電力量(年間)	約 740 万 kWh
	CO ₂ 排出削減量(推定)	約 3,100t
	敷地面積	約 11 ha (川崎市所有)
太陽電池モジュール枚数	約 38,000 枚	約 64,000 枚
工程	現地工事着工	平成 22 年 4 月
	営業運転開始	平成 23 年 8 月 10 日

3. かわさきエコ暮らし未来館の概要

管理者	川崎市
所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町 509-1 (浮島処理センター内)
開館	平成 23 年 8 月 6 日
営業時間	9:00~16:30 (入場無料) ※月曜・年末年始休館 (詳細は川崎市にご確認下さい)
概要	地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマを中心とした体験型の環境学習施設。展望スペース等でのメガソーラー見学ツアーも実施。

4. 位置図



5. 浮島太陽光発電所外観



以上

浮島太陽光発電所コンテンツイメージ

2011年8月10日より、東京電力ホームページにて、浮島太陽光発電所の発電状況や気温・日射強度をリアルタイムでお届けいたします。(http://www.tepco.co.jp/csr/megasolar/index-j.html)

東京電力

株主・投資家のみなさま 採用情報 カスタマーセンター検索 サイト内検索 検索

電気料金・各種手続き | 暮らしとソリューション | 学ぶ・知る・楽しむ | 原子力 | **社会・環境分野の取り組み** | TEPCOニュース | 企業情報

トップページ > 社会・環境分野の取り組み > メガソーラー発電所

文字サイズ 大 中 小

メガソーラー発電所



現在の発電状況 5分間隔で更新されます

発電電力	296 kW
発電電力量	12,500 kWh
気温	28.0 °C
日射強度	0.87 kWh/m ²
CO ₂ 削減効果	4,800 kg-CO ₂

5分間隔で更新

浮島太陽光発電所 施設概要

施設名	浮島太陽光発電所
所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町
最大出力	7,000kW
推定発電電力量(年間)	約740万kWh
CO ₂ 排出削減量(推定)	約3,100t
敷地面積	約11ha(川崎市所有)
太陽電池パネル枚数	約38,000枚

浮島太陽光発電所

データで見るメガソーラー

浮島太陽光発電所

400 570 474

浮島資料館 未来に向けて

浮島太陽光発電所について

浮島太陽光発電所は、川崎市と東京電力の共同事業として、川崎市の所有する浮島1期廃棄物埋立処分地の中に、当社初のメガソーラー発電所として建設されました。共同事業の枠組みとしては、川崎市が土地の提供やいます。

浮島太陽光発電所は、敷地全体で約38,000枚の太陽電池パネルで構成され、最大出力7,000kWの出力があります。設備に関する工夫の一例として、一般的に太陽電池は南向きに設置しますが、浮島太陽光発電所は南向きだけでなく、東向きや西向きなど、さまざまな向きでの設置を検討し、発電量の最大化を図っています。

浮島太陽光発電所は羽田空港のすぐ南側にあり、羽田空港の騒音の影響を軽減する役割も果たしています。また、浮島太陽光発電所に隣接して、川崎市にて運営されるエコエデュケーションセンターにて、環境教育の場として活用されています。興味がある方は、ぜひご利用下さい。

